

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑧	学校名	明日香養護学校
----	---	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	明日香の地域発見プロジェクト<小学部>
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	小学部の特別活動で実施。明日香村を拠点とした和太鼓プロ集団「倭」に演奏や体験会を引き受けていただけることとなり、事前学習として海外公演の様子を動画で視聴したり、一部の児童が演奏会の前座を引き受けることで和太鼓の練習を積み重ねたりして、演奏会や体験会への期待や気持ちを育てることを目標に取組を展開した。
連携・協働相手	村内在住の器楽演奏者【和太鼓プロ集団「倭」】
地域と共有している目標・課題等	本校児童の音楽に向かう力の育成。近隣に拠点を置くプロの演奏家による演奏を聴き親しんだり、体験したりする機会が少なかったため、連携する機会の増加を目標に行った。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>和太鼓演奏は、音楽の授業を通して触れる機会が多かったが、今年度の取組として主に和太鼓プロ集団「倭」の招致が決まった2学期から演奏会・体験会のある11月30日に向けて活動の積み重ねを行った。「倭」のお勧めである海外公演を収録したDVDを購入し、動画を視聴した。また、演奏会の前座を引き受けて計画的に練習を積み重ねた。演奏会・体験会を経ての3学期には、音楽の授業で和太鼓演奏を取り入れ、「倭」のバチを積極的に使用して演奏活動を積み重ねた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>和太鼓は振動を通して全身で音の響きを感じることでできる楽器であるため、障害が重度である児童も身近に音や演奏を受け止めやすい。事前学習として「倭」による海外公演の動画を視聴したり、一部の児童が前座を企画して練習したりしたことで演奏会や体験会に対する期待や気持ちを育てることができた。また、単なる演奏会に留まらず、体験教室として実際に楽器そのものに触れる機会を設定してもらうことで、より身近に楽器の響きを感じ、また主体的に楽器に関わることができた。演奏者から和太鼓の叩き方を直接教わったり、口唱歌を繰り返し聞いたり、唱えたりした結果、会場の全員が一体感をもって太鼓のリズムや響きを感じることでできる貴重な時間をもつことができた。この演奏会や体験会が契機となり、3学期の音楽の授業では和太鼓を取り入れた内容が展開され、事業内容を発展させていくことができた。</p>
--

